

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	摂津市立めばえ園			
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和7年3月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・学校生活全般（生活、対人関係、学習）への支援を行っている。	・児童自身が行うことが出来るよう個々にあったアイテムを作成している。また一緒に作成する事もある。 ・所属校担当職員と連携を図っている。	・担当職員の専門性の向上に向けた取り組み。
2	・保護者の困り感に寄り添っている。	・保護者の話を聞き、必要に応じて関係機関と連携を図る。 ・職員間で連携し、保護者ニーズに合った支援を考えている。 (多職種での協働)	・職員課の連携はもとより、各関係機関との連携をより深める。
3	・児童発達支援から利用している児童に対し、就学への移行支援を行っている。	・就学時、保護者の希望により各学校と担当者が引き継ぎを行っている。	・就学後も継続した連携体制の構築に向けて取り組み続ける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・児童によっては快適な空間の確保が難しい場合もある。	・空間が限られているため、同じ空間で3組の訓練を行うことがある。	・他の部屋を利用するなど工夫を行っているが、場合によってそれが難しい場合もある。衝立を利用するなどの工夫が必要である。 ・個人譲歩保護の確保に努める。
2	・ケースの共有が出来ないこともある。	・担当者が決まっている。	・職員間で連携を図り、児童の課題や取り組みについて相談する時間を持つようにする。（ケース会議の実施）
3	・保護者同士、地域との交流が行われない。	・施設のサービス内容上難しいところがある。	・グループ療育実施時に保護や同志で交流できる時間を設ける、地域の施設を利用するなどの工夫を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 摂津市立めばえ園

公表日 年月日 令和7年5月9日

利用児童数 45名

回収数 18名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2	0	0	・私の息子にはグラウンドくらいの規模が必要。	・個々に合わせプログラム内容を工夫し、散歩に出かけるなど広い場所でも活動できる様取り組んで行きます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1	0	0		・配置基準を順守し事業を行っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	3	0	2	・学習スペース、職員室、お手洗い等、覚えやすく清潔に整えられている。また、十分に活動を行える広さを確保されているため過ごしやすい。	・ありがとうございます。今後も引き続き快適に利用していただけるよう取り組みます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	1	・トイレが古く、使いにくく感じる時がある。	・改修に向けて担当課と相談していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0	・子どもの特性を理解し、相談にもたくさんのおつて下さる。適切なアドバイスもくれる。 ・内面から細かく話を聞いていただき、本人のペースに合わせて支援していただいている。	・今後もお子さんひとり一人の特性に応じた支援が出来る様、多職種で連携して取り組んで行きます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0	・相談等をする時、子どもが居ないところで話せる時間やスペースがあるとより良い。 ・定期的に対話する機会を作って下さり、安心する内容で作成いただいている。	・保護者の相談内容によっては、訓練以外の日に時間を設けるなど、落ち着いて話すことが出来る環境を工夫していきます。 ・今後も定期的にお話をする時間を設けて行きたいと思います。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	3		・支援計画の説明の時に、具体的な支援内容について説明を行っています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	2		・観察時にねらいについて、保護者と確認し利用を開始しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	3		・活動プログラムは、職員間で相談しながら考えています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	5	0	5		・プログラムの性質上活動する機会はありますが、地域の図書室等を利用しています。
保護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	2	・複数の事業所利用についての支払い方法が難しかった。	・上限管理について保護者の方にわかりやすく伝えるようしていきます
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	2		・保護者に呈示しながら支援内容の説明を行い、保護者の意向を聞き、必要に応じて加筆、修正しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2	0	4		・令和6年度から当園で行っている「ステップング」について。保護者の方により丁寧に周知したいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	18	0	0	0	・その都度、近況を含めた話をする機会を設けてくださり、アドバイスもいただいている。	・ありがとうございます。今後も保護者の方に満足いただける様取り組んで行きます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0	・感情があふれ、涙してしまうときが何度もあるが、いつも共感してくださり、あたたかい言葉をいただいている。	・今後も保護者の方に寄り添い、ともに子育てする気持ちを大切に取り組んでいきます。

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	0	8	・グループ療育を行う等交流の場を設けていきたいと思います。 ・特別なプログラムは実施していませんが、きょうだい児と一緒に行事等に参加した時は、一緒に楽しめるプログラムを工夫しています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	0	1	・丁寧に聞いて下さり、すぐに対応していただいている。 ・福祉サービスの利用についての相談があった場合は、当園の相談支援専門員を紹介し迅速に対応し、安心して相談できる場の提供に今後も務めていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0	・子どもにもわかりやすく話して下さり、記憶に残りやすいように配慮していただいている。 ・ありがとうございます。今後も引き続き取り組んでいきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	3	0	8	・ホームページにて公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	4	・今後もマニュアルに沿って、留意していきたいと思います。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	0	0	6	・職員が訓練や研修を重ね、非常時には保護者、児童を誘導し安全に避難できる様取り組み、マニュアルも適宜見直しを行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	4	0	7	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	4	・今後も保護者が理解しやすいように工夫を重ねながら周知していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	8	・保護者同伴での利用ですので、改めて連絡をさせていただく事はありません。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0	・ありがとうございます。今後お子さんに楽しんでもらえる様取り組んで行くと共に保護者の方にも安心していただけるよう職員で力を合わせて頑張っていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	0	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		摂津市立めばえ園		公表日		令和7年 5月 9日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・施設基準には準じているが、利用児の特性から、もう一部屋欲しい時があるので、衛立等で区切り利用しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4		・施設基準に沿った訓練士、保育士・児童指導員を確保しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・視覚支援を用いると共に、室内を整理整頓し、利用児にとってわかりやすい空間を作ると共に、席の配置なども子どもに合わせて工夫を行っていますが、建物の構造上難しいところもあるので、さらに工夫を続けます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	・保育・療育終了後の掃除、消毒液を使用した拭き掃除、大掃除等を全職員で行い、気持ちよく利用していただけるよう心掛けています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・他事業等で調整が必要な時はあるが、館内の部屋は利用できるようになっている。 ・必要に応じて職員間で相談し、こどもが使いやすいように取り組んでいるが、場合によっては児童が慣れていない部屋を利用する事があります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・毎朝夕の全職員による打ち合わせ会議、月1回の正規職員による職員会議、各事業ごとの会議を実施し、業務改善につなげています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・月1回行っているリーダー会議、職員会議で意見交換を行い業務改善につなげています。 ・年2回管理職が全職員と面談を行い、意見等を把握する機会を設けています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		・福祉サービスの第三者評価を受審し、業務改善につなげています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	・研修案内を掲示し職員に周知し、適宜参加を呼び掛けています。年数回、職員による勉強会を実施すると共に、法人全体研修にも積極的に参加を促しています。令和6年度は全員が参加できる体制での研修会を予定しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・令和6年度に作成し公表しています。適宜見直しを行って行きます。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・毎回訓練実施後に振り返りを行い、保護者ニーズを聞くと共に、PT.OT.STで子どもを評価し意見交換をするとともに、子どもに応じて公認心理師による発達検査を実施し、]結果を共有したうえで放課後等デイサービス発達支援計画を策定しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・職員間で共有し支援を行っています。また、適宜振り返りを行い支援に活かしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・必要に応じた標準的な発達検査を実施し、子どもの状態把握を行っています。 ・集団療育対象の児童に対し、定期的に個別療育の時間を設けています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・放課後等デイサービス支援計画には本人支援だけでなく、児童を取り巻く家族、きょうだい等の支援にも着目し立案しています。 ・「地域支援：地域連携」「移行支援」等については、ねらいとして必要な児童に対し設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・日々職員同士で話し合いを行い、利用児の状況に応じて活動内容を見直し、さらに工夫を重ね計画を立てていますが、月2回の利用児が多いため、同じ内容で継続的に行うことが必要な児童もいます。		
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4					

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・同じ狙いを持つ児童でグルーピングを行い計画を立て支援しています。グループ活動が必要な児童に対し、スケジュールが合わず、参加することが出来ない場合もあります。今後も参加できるよう工夫していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・グループ活動の場合は担当職員で支援開始前に打ち合わせを行っていますが、個別活動の場合は担当外の職員と意見交換をしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・担当した職員で振り返りを行い、その日のこどもの様子を共有し、次の支援につなげています。振り返りの時間を持ってない時や参加できなかった職員は記録で確認するようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・支援終了後に記録をとり、振り返ると共に次回の活動に活かしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・訓練の終わりに、保護者とその日の支援内容について振り返りを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		・基本活動に基づいて作成しています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・活動を提供するときに、子ども自身が選択できるプログラムを取り入れています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・会議内容を確認したうえで、最適な職員が参加するようにしています。。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・利用児の状況に応じて、必要な関係機関と連携しています。 ・相談支援事業所と連携体制が整っています。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		・通所支援事業所連絡会に参加し連携を図っています。
	29	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		・ともに活動する機会はありませんが、地域の図書館等を利用するなど交流は図っています。
	30	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		・参加しています。
	31	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・訓練終了後に必ず振り返りの時間を設け、その時に学校での様子や、課題についても話しています。
	32	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	・令和6年度に、ペアレントトレーニングを実施し、令和7年度も実施予定です。
保護者への説明等	33	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・利用前に重要事項にて、利用料等について説明を行っています。運営規定、重要事項については、閲覧できる様玄関に設置しています。
	34	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・利用前に保護者よりこどもについてアセスメントを行うと共に、保護者ニーズを聞き取る機会を設けています。サービス利用開始後も適宜個別面談等を行い、随時保護者の意向を確認する機会を設けています。
	35	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		・保護者に支援計画の説明確認を行い、保護者の意向を聞いたうえで、必要に応じて加筆・修正を行っています。
	36	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・利用終了後に行う振り返りを行い、必要に応じて助言等を行っています。
	37	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4	・施設の性質上行っていません。
	38	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・苦情担当窓口を設置しています。苦情があった場合は速やかに周知し対応する様に取り組んでいます。
	39	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		・お便り等を配布する事はありませんが、掲示板に地域の情報を掲示しています。

	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・職員間で繰り返し取り扱いについて確認を行い、最新の注意を払っています。
	41	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・子どもに向けては、個々の特性に合わせて伝え方に工夫しており、保護者に対してもわかりやすく説明するようにしています。(わかりやすい言葉で伝える。文書にする、ゼスチャー、イラストを使う等)
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	・行事で交流することはありませんが、地域の図書館を利用する等、地域と交流を行う機会を設けています。
非常時等の対応	43	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・職員に対して各マニュアルの周知を行い、保護者には感染症等の注意文書等を配布しています。業務継続計画を作成し職員研修の実施及び保護者と共に訓練も実施していきます。
	44	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・通園児に対しては月1回行っていますが、月2回利用のお子さんには行っていません。利用開始時に、非常災害時の対応について伝えています。
	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・利用開始時、面談を行い体調や既往症について確認しています。
	46	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・医師からの指示書に加え、除去食申請書を保護者に記入、提出してもらい除去および提供を行っています。さらに毎月保護者に給食内容を事前に確認してもらっています。
	47	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・安全計画を作成し、職員に周知すると共に、職員研修を実施しています。 ・適宜見直しを行っています。
	48	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		・安全計画を作成していますが、月2回利用の家族には周知できていませんが、重要事項の説明時に当園の避難訓練等について説明は行っています。
	49	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・ヒヤリハットや事故については、報告書に記入し、終礼時や回覧等で職員全体で共有しています。
	50	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・虐待防止研修を受講すると共に、会議等で職員が意見交換する時間を持っています。
	51	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・身体拘束について考える機会を持ち、緊急時以外は行うことがない様、職員で確認し療育・支援を行っていますが、安全を守るため等に必要場合は、園内でも共有し支援計画に記載し、保護者に説明・了解を得て見直しを行っています。